

石川ピカピカ大作戦

令和6年10月
南あわじ市立
沼島小中学校



スポーツで元気に!!



十月二十七日(日)羽咋市武道館にて石川ピカピカ大作戦の初日、羽咋市武道館には井上康生監督とパリオリンピック九〇キロ級準優勝、村尾三四郎選手、東海大学監督の上水先生、そして地元の子ども達約二〇〇人が参加しての柔道教室が開催された。沼島小中学校の児童生徒も二六名が参加した。井上監督は子どもたちに、「一本一本の打ち込みをどれだけ大切に積み重ねることができると結果は大きく変わってくる」とアドバイスを送った。村尾選手は得意の太外刈りを披露し、初めて柔道を習う沼島小中学校の児童も、目を輝かせながら次の乱取り稽古に取り組んでいた。最後は、選ばれた数人の小学生が井上監督と村尾選手と乱取りをして会場を沸かせた。児童生徒たちは、被災地の子どもたちと一緒に会場を動かし、スポーツ交流の意義も感じることができた。



意気込み

被災地で自分で何ができるかをしっかり考えて、石川県復興に貢献したいです。

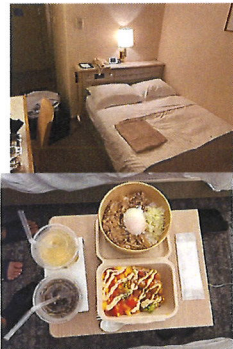
意気込み

石川の復興に向けて、一生懸命手伝いたいです。元気を届けるぞ!

意気込み

石川の人に元気を届けて、少しでも早く復興できるように応援する。小学校との交流や海岸清掃を頑張る。

被災地に想い寄せて



二日目は、ホテルマイステイズ金沢片町というホテルに泊まらせていただきました。僕は2人部屋でとても広々使えました。ベッドがふかふかだったので一日の疲れが吹飛びました!!朝ごはんは、色々な種類から選べました。僕は、金沢の当地グルメのハントライスをいただきました。一緒に泊まった友達は、肉がジューシーで美味しい牛カルビ丼を食べていました。



小中で初!? 宿泊研修
一日目は、能登青少年交流の家に泊まらせていただきました。とても広く人数での宿泊まりは最高でした。夜ご飯と朝ごはんはバイキングで、みんなとても美味しく頂きました。とても美味しかったです!!朝は、体を温めるためにラジオ体操をしました。いい感じに体が温まりました!

丸川プロジェクト始動 第一弾は、石川ピカピカ大作戦

石川ピカピカ大作戦で自分たちができる事

沼島から元気を届けたい!!

一月一月の能登半島発生を受け、南あわじ市では、全五中学校の生徒会役員がオンラインでつながり、「自分たちは何ができるか」を話し合った。被災直後に珠洲市で支援活動を行った兵庫県教育委員会震災・学校支援チーム(ARC)の報告を受けた後、沼島中学校の生徒会本部役員が「僕たちは能登半島に行つて募金を届けたり、スポーツ交流やボランティア活動で直接元気を届けに行こう」と宣言し、プロジェクトがスタートした。まず始めたのが、募金活動である。沼島汽船乗り場や灘黒岩水仙峡に向くだけでなく、沼島の方々に協力を仰ぎ、沼島汽船や小中学校、郵便局、漁協、木村屋、沼島総合センター、バッテリーカフェ吉甚、水軍、長尾屋に募金箱を設置した。そして、三月までに集まった約十五万円を金沢市役所に直接届け、柔道合同練習会でスポーツ交流支援活動を行った。



沼島小1年生と2年生が記念品を制作した



缶バットとジハッパを袋に入れてメッセージを書いた



仮設住宅に届ける玉ねぎ詰め。原田青果さんが協力してくれた。玉ねぎネットの中には、事前に自分たちで書いた応援メッセージカードを入れた。中学1年生の〇〇さんは「美味しい玉ねぎを食べて元気をだして」と力強いメッセージを添えた。



活動の様子は沼島中HPをご覧ください

